



「あいマス運動」応援プロジェクト ～ 生徒会生活委員会の取組 ～



10月13日(金)から「『あいマス運動』応援プロジェクト」が始まりました。「あいマス運動」とは「あいさつマスター運動」の略で、令和4年度綾川中学校初代生徒会の発案により実施している生徒会活動です。それを生徒会生活委員会が後押ししようとしているのが表題の取組です。

「マスター」には「習得する」や「達人」等の意味があります。この意味の如く、挨拶を習得し、挨拶の達人が増え、新しい綾川中学校をより一層さわやかな学校にしようという目的で始まったものです。

この日は、1年生の生活委員及び有志の16名による挨拶運動が実施されました。登校してきた1年生にとっては中学校に入学して初めて見る光景だったので、少し戸惑いが見られましたが、恥じらいながらも挨拶を交わすことができていました。

さて、最近の子どもたちの日ごろの挨拶について感じるものがいくつかあります。

良い点としては

- ① 令和4年度の学校統合を機に、次第に挨拶をする人が増えたこと
- ② 挨拶をすると、挨拶がきちんと返ってくる
- ③ 静寂が必要な場所や時間帯で「黙礼」ができるなど、TPOに合わせて挨拶ができる生徒がいること

今後期待したいこととしては

- ① 相手・場所・時間帯にかかわらず挨拶を心掛けること
- ② 相手に聞こえるような声量での挨拶を心掛けること
- ③ 相手を見て挨拶することを心掛けること

子どもたちには挨拶をする際のポイントを「あ・い・さ・つ」の4文字それぞれから始まる言葉で、「あかるく いっつも きに づけて」と意味づけて挨拶への意識を喚起しているところです。今後、高校、大学、専門学校等の学校や、家庭人、社会人、地域人としてなど様々な集団の中で生活をしていくためのコミュニケーション能力の原点が「挨拶」と考えます。中学生のこの時期に、「挨拶」の素地を身に付けることは今後の人生を豊かにすることにつながることでしょう。たとえ今は「挨拶」の意味が理解できなくとも、いずれその価値を実感すると信じて、本プロジェクトの充実を期待しているところです。

◇10月13日(金)～10月17日(火)…生徒会生活委員会による挨拶運動

◇10月20日(金)、11月1日(水)…部活動有志による挨拶運動



【スタートした2年生のランチルーム給食】



【憧れて憧れられて…「きょうだい学級」の取組】